

大学の世界展開力強化事業 H26取組概要 九州大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA-I CAMPUS Asia Pilot Program))

エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

専門分野の深い知識を修得し、それに基づく研究開発能力、エネルギー環境問題の現状の理解と発展的考察力、グローバルに活動するために必要な英語力を兼ね備えた研究/技術者倫理を持ち、異国の文化・人・社会を理解出来る人材

【構想の概要】

エネルギー問題とそれに関係する環境問題に関わる化学と技術分野において、将来グローバルに活躍出来る高度研究者・技術者を国際連携の下で育成するためのダブルディグリー理工系大学院協働教育プログラムを、九州大学(KU・日本)、上海交通大学(SJTU・中国)、釜山大学校(PNU・韓国)が共同開発し、本格的に実施する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ **本プログラム初のダブルディグリーを取得したDD生 20名が修士課程修了**
半期の留学と一編の英語による修士論文審査および、母大学と留学先大学2大学の修了要件を満たした20名(KU生9名、PNU生4名、SJTU生7名)が、DDを取得した。

○ **国際/国内PDCA委員会の開催及び国内プログラム採択校大学との情報交換**
日中韓コンソーシアム内の国際PDCA委員会、学内のPDCA委員会の適宜開催ならびに、国内プログラム採択校との情報交換、ジョイントセミナー等を実施した。

○ **外部委員によるプログラム運営に関する評価**
外部有識者で構成される九州大学国際交流総合企画会議で、本プログラムの運営・活動実績に関する評価がなされ、高い評価を獲得した。



〈H27/3/25 九州大学学位記授与式〉



〈H27/3/21 SJTU学位記授与式〉



〈H27/2/27 PNU学位記授与式〉

■ 実施した交流プログラムの概要



〈H26/8/11~22 サマースクール 於 上海〉



〈H27/2/25~28 スプリングセミナー 於 九州〉

○ 交換留学

DD取得の為の交換留学を実施した。(12名派遣、10名受入)

○ 校外学習実施(山口地方へ) 平成26年7月18日~19日

KU EESTコース生並びに前期EESTコース生として滞りだした留学生を対象に校外学習を実施。エネルギー環境理工学に関する現場を実際に見学した。

○ 第3回サマースクールへの参加 平成26年8月11日~22日

輪番制のサマースクールをSJTUがホスト校となって開催し、3大学あわせて96名の学生が参加し、成功裏に終了した。

○ CSS EEST#16 への参加 平成26年11月13日~15日

学生の研究交流事業であるCSS EESTをPNUがホスト校となって開催し、3大学あわせて130名の学生が参加し、活発な交流を行った。

○ 博士課程学生の短期受入れ

本プログラムの拡大を目指し、博士課程の学生を3名受入れた。

○ スプリングセミナーを開催 平成27年2月25日~28日

3大学のDD生ならびにEESTコース生を一同に集め、KUがホスト校となって開催し、エネルギー環境理工学分野の補完教育を行い、成功裏に終了した。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

述べ105名(DD生12名、サマースクール44名、CSS42名、PNU/SJTU短期訪問7名)を派遣した。

○ 外国人留学生の受入れ

述べ33名(DD生10名、スプリングセミナー15名、博士課程学生短期滞在3名、その他5名)を受入れた。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本(J)での受入	C10, K10	C25, K41	C30, K46	C21, K12	C7, K7
中国(C)での受入	0	J3, K3	J54, K71	J53, K34	J7, K7
韓国(K)での受入	0	J24, C13	J5, C2	J52, C28	C25, J37

注) H23~H26は実績、H27は計画

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 英語力強化に向けた英語教育ならびに定期的なTOEIC受験によるスコア追跡

Native Speakerによる実践英語教育、および在学期間を通しての日常英会話により、英語力向上を目指した指導を実施した。

○ 派遣先大学で取得した単位の移管/互換

半期間の派遣留学で取得した単位を、最大10単位までKUに移管/互換し、九大の修了要件単位として補充した。

○ 受入れ留学生へのサポート体制の充実

留学生へはサポーターを配置し、勉学/生活面での各種補佐作業を実施、より早期の生活安定を図った。

○ 海外留学支援制度の奨学金を利用した留学環境整備

JASSO 短期派遣/滞在 奨学金を積極的に利用し、短期派遣、短期受入学生数の促進に繋げた。

■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況・情報の公開・成果の普及

○ プログラム拡大・発展を視野に入れた新交流事業の開始

博士課程の交流を視野に、韓国延世大学との学生交流セミナーを(SKY-1)を九大にて実施、両大学から19名を超す博士課程学生ならびに21名の教員が参加し、研究交流を行った。

○ 各媒体を利用した情報発信

HP, FB, 事業報告書、News Letterはもとより、第1期DD生修了に関してのプレスリリースを行い、遍く、成果発信に努めた。